

## 記載例

年度 障害児等療育支援事業 申し込み書

依頼施設名	保健センター		
担当者		電話	Fax
支援内容	<input type="checkbox"/> 個別支援会議 <input checked="" type="checkbox"/> 支援者の支援スキルの向上（ <input type="checkbox"/> アセスメントの方法 ・ <input type="checkbox"/> 具体的な支援方法） <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> その他  ○具体的内容（実施機関、対象者：人数・年齢等、研修会内容、関係機関等） ・ 保育園・幼稚園の先生を対象とした研修会。 ・ 研修会内容：児の定型発達をはじめとし、児のアセスメント方法・具体的な支援方法について		
希望講師（公文書参照）	〇〇 〇〇 氏	職種	発達障害地域支援専門員 保育士 心理士 OT PT ST その他
希望日時 （詳細が決定していない場合は実施月のみで可）	年 月 日 曜日	時～	時まで
	年 月 日 曜日	時～	時まで
参加者(人数・職種等)	保育士・幼稚園教諭・保健センター，その他関係機関		
現在の取組み (取組み内容、課題、うまくいっていること)	現在の取組み：不定期な保育園・幼稚園の巡回訪問，必要時の情報共有等を行っている。巡回訪問では，保健センターの健診で要観察・要支援となった児の保育園・幼稚園での様子の確認を行っている。その際に，他の児についても情報をいただき，次回の健診でチェックできるよう対象の把握と必要時，発育発達クリニックの相談に繋げるか保育士と検討を行っている。相談会に繋がることもあるが，保育士・幼稚園教諭による親子教室や相談会・療育等の支援へ繋げるためのアセスメントや保護者への声掛けなど支援スキルに対する不安があり，連携して支援繋げることへの課題がある。		
目標  ①めざす姿 ②今回支援でめざすところ	1. 子どもの定型発達についての理解を深める。 2. 関係スタッフが児の個性にあった関わり方を学び実施することができる。 3. 日常の様子等について保護者が児の特性の理解を得られるような声掛けなどの保護者との関わり方を学び，子どもの個性にあった支援を提供することで上手くいく行動のコツを学習して成長していくタイプの子ども達ということを理解して，児の支援を行える。 4. 各関係機関のそれぞれの役割の相互理解，連携における必要事項を学び，支援が必要な児に必要な支援に繋げることができる。		
備考(今後への要望など)	年3回ほど継続して支援希望 夕方の研修会を組んでほしい。		